

ポスターを貼らせていただけませんか?

座談会実施中!

- 岡本みつのりのポスターを貼らせて頂ける場所を探しています。
- 駐車場、畠、空き地、工場・ご自宅の壁など、お邪魔にならない場所で結構です。
- 短期間のご掲示でも結構です。
- ご連絡いただければ、日程調整の上、事務所よりスタッフが伺わせて頂きます。

- 岡本みつのりと直接ひざを交えて語り合いませんか?
お店の一室、ご自宅、喫茶店などで、国政の今とこれからを語ります。また、是非とも地域の課題をお聞かせ下さい。
- 詳細については、ご相談の上、調整させて頂きます。まずは事務所までご連絡下さい。

岡本みつのりの活動を支える 個人寄付サポート 募集中

岡本みつのりは原点を忘れずに誠実な政治活動を行います

日頃より私の活動に対して厚いご支援を賜り、心から感謝申し上げます。
厚生労働分野、農林水産分野を中心に、国民ひとりひとりが安心して暮らせる社会の実現に向けて、皆様の声をしっかりと聞きながら活動を行ってまいります。
ただ、政治には、多くのお金がかかるのも事実です。人件費、家賃、印刷代などなど、これらを全て私個人で支えるのは、大変難しいというのが実情です。
心苦しいお願ひですが、ご寄附で岡本みつのりを支えて頂けないでしょうか。
なお、頂いたご寄附は、政治資金規正法に基づく寄付金控除の対象になります。
領収書や寄附金控除のための書類が必要な場合は、事務所までご連絡下さい。
(控除を受けるには確定申告が必要です。詳細は国税庁HPをご覧下さい。)

※諸般の手続きの都合上、寄付領収先は「民主党愛知県第9区総支部」となります。

岡本みつのり事務所（民主党愛知県第9区総支部）

◆稲沢事務所◆〒492-8181
愛知県稲沢市日下部北町4-1-3
Tel : 0587-24-8164
Fax : 0587-24-8165
Mail : office@mitsunori.net

◆国会事務所◆〒100-8982
東京都千代田区永田町2-1-2
衆議院第2議員会館912号室
Tel : 03-3508-7212
Fax : 03-3508-3212



<http://www.mitsunori.net/>
twitter、facebookもやっています!!

衆議院議員 医師・医学博士

岡本 みつのり

1971年6月生まれ
名古屋大学医学部卒業
名古屋大学大学院医学研究科博士課程修了
一宮市民病院、津島市民病院勤務経験
元・厚生労働大臣政務官

「これから」
を
ささえる

政治の
特効薬 第109号



通常国会は前半を終えました。安倍政権の提案内容はかなり詰めの甘いものが多々、課題が残ったまま多数の論理で成立させているものが少なくありません。安保法制もTPPでも、現政権は歴代で最も米国追従ではないかと感じています。その他にも盲目的な原発再稼働の姿勢、残業代ゼロ法案や派遣労働者拡大法案など富裕層や大企業に手厚い政策を目指すなど一般国民の目線とはかけ離れていると言わざるを得ません。普通に暮らす国民が最後に泣く日本にしないために頑張っていきます。

通常国会は前半を終えました。この3か月間で、本会議での質問と、9回の国会質問をさせていただきました。他の国會議員と比較しても圧倒的に多い国会質問をさせて頂けるのも、国会に送り出して頂いた地元の皆様のおかげと感謝しています。

衆議院 本会議 (H27.4.14)

国民健康保険法等の一部を改正する法律案に対する代表質問

- ・高齢者医療制度の抜本的改革の必要性
- ・真に持続可能な国民健康保険制度に向けた改革の必要性
- ・必要に応じた、安全な医療制度を受けられる仕組みづくり

紹介状なく大病院を受診した場合の定額負担制度のあり方

診療報酬引下げ後の医療費適正化計画推進の問題点

患者申出療養制度における安心・安全性の担保について

厚生労働委員会 (H27.3.20)

1. 戦没者特別弔慰金支給法改正と恩給法について

戦後70年という節目を迎えるにあたっての国家補償のあり方

2. GPIF（年金積立金管理運用独立行政法人）等のガバナンス

『職務上事前に知り得る情報』を持つ職員の資産運用規制

3. 病児保育・病児後保育の促進について

医療従事者の確保に向けた各方面に対する真摯な取り組みを

災害対策特別委員会 (H27.3.20)

1. 学校施設、公共施設耐震化について

国民の命を守る、また被害の最小化を図る施策の推進

2. 中部圏の防災対策（木曽川・庄内川の整備も含めて）

中部圏を対象とした被害想定、シミュレーションの策定

複合的要因が重なった場合の港湾・河川等状況の公表

木曽川堤防の未対策区間（10キロ超）の早期改修

3. 液状化対策事業について

使いやすい制度設計、防災減災の観点から一層の事業促進を

厚生労働委員会 (H27.4.7)

1. 労働者健康福祉機構にかかる諸問題

公的病院（国立病院、労災病院等）勤務医師に対する謝礼問題

障がい者雇用率の虚偽報告について

労災病院の意義と今後の在り方について

2. 独立行政法人の資産運用・報酬、ガバナンスについて

縦割行政の名残を排した、政治主導の真の独立行政法人改革を

詳細は岡本みつのりHPをご覧ください！

今日は、委員会質問で取り上げたテーマの中から、3つをお話させていただきます。



1. 備えあれば憂いなし。尾張地域の防災・減災対策をしっかりと進めていきます！

私たちが暮らす尾張地方は、昔から水害に苦しめられてきた地域です。首都圏(利根川水系)については、平成22年4月に中央防災会議において、大規模水害被害想定を策定しました。これと同様のものを、中部圏、関西圏においても策定すべきだと災害対策特別委員会において質問をしたところ、政府から『中部圏でも、首都圏と同様のシミュレーション・被害想定を策定する』という回答を引き出しました。

あわせて、東日本大震災の際に千葉県浦安市で起きたような、市街地の大規模な液状化現象問題も取り上げました。いったん液状化現象が起きると、被害家屋や道路・インフラの修復、地盤改良対策などに莫大な費用がかかります。



尾張地方の各市町村は、他の地域と比べても、圧倒的に液状化の危険度が高い地域です。

早めに対策をとることが、結果的に個人の負担も、また国や地方公共団体の負担も減らすことにつながります。

国民の皆さんを使いややすい液状化対策事業の補助制度をつくり、着実に実施されるように働きかけていきます。

2. 意外と知られていませんが、働くパパ・ママの味方！ 病児保育・病後児保育、院内保育の推進を。

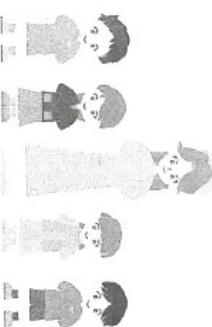
『病(後)児保育』ってご存知でしょうか？簡単にいうと、『地域のお子さんが急に発熱等した場合に、一時的に預けることができるサービス』です。専門の保育士や看護師・医師、栄養士が連携してお子さんを預かる仕組みで、施設型の場合には、市町村が適切だと判断すれば簡単に設置が可能です。ただ残念なことに、まだまだ制度自体も知られていないこともあり、利用者数も設置する施設も少ないというのが現状です。

他方、院内保育とは、病院内で働く人たちのための保育サービスで、医療従事者の子育てによる離職防止、人材確保の点から、非常に有意義な制度だといえます。ただ、こちらも都道府県による差があり、ほとんど進んでいない（交付決定ゼロの県も！）状況です。

私は、「使いやすい運営補助体制と横断的な制度の周知をすべきだ」と厚労委員会で質問をしました。

大臣からは、「周知をしっかりとやる」「方向性を示して前進させる」と前向きな答弁がありました。

共働きの方、また医療従事者の皆さんにとって、安心して子育てと仕事の両立ができる環境づくりに向けて、関係団体とも連携・協力をしながら、拡大を図っていきます。



3. 残業代が消える？ いよいよ残業代ゼロ法案が現実のものに

労働時間規制規定の適用状況について

ついに、労働基準法の一部改正法案が閣議決定されました。マスコミは「時間」ではなく「成果」を重視する法案だと報じています。しかし、成果に応じた報酬に関する記載などどこにもなく、

ただ単に残業代が発生しないことや休憩や休日の規定が適用されないことが規定されています。

労働時間規制 適用範囲 (休日) 休業日 (休日)	新規賃金 (35h)	標準 休憩 (20分)	休憩 有給 休暇 休憩 規制	半次 年次 休暇 規制	当直の 賃金 規制
一般労働者 △※ 対象者	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	—	—
派遣労働者 パート・嘱託 労働者	×	×	×	○ ○ ○ ○ ○ ○	—
○…適用対象 ×…適用除外	△※ みなし労働時間が8時間以下であれば、そもそも問題とならない。 8時間を超える場合には36協定の締結・届出、割増賃金支払が必要。				

私は、何よりも“地域の安全”“安心した暮らし”を守る制度づくりが重要だと考えています。

問題のある法案の追及・是正はもちろん、自らも積極的に法案整備に尽力していきます。

